

2012年10月10日

JICA

「図解思考」を用いた国際コミュニケーション力の向上

職場でもパワーポイントを使って図で説明を受けますが、質問のしどころ(ポイント)がよく分かりました。

図解することで業務内容を整理することができた。

自分を見直す機会になり良かった。図解していくうち、矛盾がある部分に気が付き修正に修正を重ねる結果となった。

自分のミッションを図で表現することで、今まで見えていなかった部分も見えるようになった。一つ一つの仕事も多くの人、組織、モノが関連しているので、講義で得たものを有効に活用して仕事を進めていきたいと思います。

文章が苦手なため、図解を最大限利用していきたいと思います。

相手国の人たちに試してみたい。

箇条書きと図解の混合ぐらいがちょうどいい。日本の国益にどう貢献できるかという視点を大切にしたいと思う。

図解思考参考になりました。

仕事でも何でも全体図を把握しようと思うときに使いたい。

図解のメソッドが良くわかりました。逆に文章のメリットとは何かということも頭によぎりました。

図化の際、使用する矢印や、丸の書き方など、なるほどと思いました。

自分のTORを見せられて、3日目にして真剣に読みました。こういう時間は大切です。

自分のプロジェクトを振り返る良い機会になりました。たたき台にして議論をする時に有用だと思いました。

頭の整理もさることながら図解のテクニックも学ぶ必要があると感じた。

プロジェクトの概念図はわかりやすくてよりよい。相手国側への関係者への説明にも使えると思う。JICAの広報戦略の弱さに同意する。

キーワードの図解を試みました。我が国にとってどういう意味があるか、難しいと思った。

図解することは、自分が理解していないことを理解することである。